

お詫びとお願い

『高槻市史』既刊分のうち、史料編Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(第四卷)・(第五卷)所収の文書名・所蔵者名に、それぞれ左のような誤りがありました。文書所蔵者・関係者の方々および購読者各位に御迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

なお、御訂正は、各巻の指定の箇所、左に添付した正誤カード下段の訂正紙を貼付けていただくことになりました。御手数ですが、裏に粘着剤が付いていますのでめくっていただき、誤記の上にご貼込んで御利用下さい。恐れ入りますがよろしくお願ひ申し上げます。

高槻市史編さん委員会事務局

正誤表〔上段誤・下段正〕

『高槻市史』第四卷(一)・史料編Ⅱ

グラビア三頁

(沖田對片繪)

↓(佐藤對片繪)

四四一頁 上段一行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

八二〇頁 史料提供者一覽六行目

太田 弘 典

↓ 浅野弘之

八二二頁 あとがき 六行目

太田弘典氏

↓ 浅野弘之氏

『高槻市史』第四卷(二)・史料編Ⅲ

一七二頁 下段三行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

一八四頁 下段七行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

一八九頁 下段一行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

二二二頁 上段五行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

三三三頁 上段一四行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

三三四頁 上段一二行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

六三七頁 上段九行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

七二二頁 史料提供者一覽上段一五行目

太田 弘 典

↓ 浅野弘之

『高槻市史』第五卷・史料編Ⅳ

三頁 上段一行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

三頁 下段四行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

四頁 下段一行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

五頁 上段一四行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

二二頁 下段八行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

三三頁 下段一行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

一〇二頁 下段中

太田家文書

↓ 浅野家文書

一一三頁 上段一行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

一五六頁 上段二行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

一八五頁 上段一行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

一九〇頁 上段一〇行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

一九三頁 下段四行目

太田家文書

↓ 浅野家文書

七二二頁 史料提供者一覽上段二行目

太田 弘 典

↓ 浅野弘之

七四八頁 索引

沖田對片繪

↓ 浅野弘之

正 誤 表 (本編I)

ページ	行	誤	正	備考
三八	六	一〇八・四二九平方キロ 桃園町2-1番地	一〇〇四・九五平方キロ 桃園町2番1号	昭和五十一年二月一日現在 「所在地」四行目 挿入
四	表1	もとずいたので	もとずいたので	挿入
二八	一七	(ロカ)	(ロカ)	ルビ
四五	八	新築工事	増築工事	
五四	九	藤田原副	藤田至則	
六〇	四二五	藤小路(守口市)	(大阪市旭区)	
八一	四	枚方市交野山	交野市交野山	挿入
一三五	二一三	總谷遺跡	總谷遺跡(枚方市)	挿入
一三五	三	いづくか	いづくか	
一三五	三	枚方市墨田遺跡	交野市墨田遺跡	
一三八	九	一四〇年間	一八〇年間	
一七五	一六	全中期一四〇年間	中期の一四〇年間	
二一〇	七	枯れる	濡れる	
二二七	一六	軟いから	軟らかいから	挿入
二二六	四	氷室	氷室	挿入
二七七	四二六	西郷が	西郷が	因中左中央
三九二	一七	式内溝神社	式内溝神社	因中左上
四三二	四二七	考え入れ	考え入れ	
四四三	一一	田名綱宏	田名綱宏	ワリ注
四五四	一〇	観応三(文和)元年	観応三(文和)元年	カッコ挿入
四八〇	一一二			

ページ	行	誤	正	備考
四八四	九	西宮神社	西宮神社	フリ注
四九〇	一七	(中世) (二九)	(中世) (二一九)	
四九四	一七	(史料編八三)……	(中世八三)……	
四一六	圖書号	富田遺跡	富田遺跡	圖書号挿入 図中左下
五一〇	四二七八	富田遺跡	富田遺跡	「跡」削除
五一三	四一八〇	富田遺跡	富田遺跡	
五二二	一五	戦利	戦利	
五二四	一	六波羅	六波羅	フリ注
五四三	九	「東登百合文書」甘函式	甘函式	挿入
六一三	六	心房	心房	「紫」削除
六一三	七	兜の供御人	兜の供御人	
六二三	三	余櫛のない	余櫛のない	
六三〇	一七	日数をかけて	日数をかけて	
六三三	一〇	……し。宿泊している	……し。宿泊している。	「」の位置変更
六三四	表番号	表10	表9	
六三五	二	表一〇	表九	
七三〇	一七	間もなく	間もなく	
八〇六	一七	ころの物	ころ	「の物」削除
八〇七	一〇二	村さばき	村の物さばき	挿入